

令和4年度 予算編成に対する予算要望書を提出

総務部会

後列左より
箱山 正一 松田 光平 グレート無茶



令和4年度予算要望の主な内容

情報システムの標準化対応や事務のペーパーレス化など、行政デジタルトランスフォーメーション(DX)を着実に推進するとともに、人口減少に伴う職員の減少を見据えたAI等の先進技術の活用やBPRの推進、多様な働き方の実現を目指したテレワークの推進などにより、事務の効率化と行政サービスの維持を図っていくこと。

SDGs未来都市として、「環境共生都市「ながの」」の実現を目指し、SDGs 17ゴールの達成に向けた取り組みを積極的に推進すること。

建設工事の発注は、時期による繁閑が大きく、必要な技術者や作業員の確保や、現場での品質管理に支障を生じているので、早期に施工時期の標準化を実現し、併せて、適正工期設定に努めること。

また、柔軟かつ余裕のある施工体制の構築を通じて、働きやすい職場づくりを進められるよう、フレックス工期契約制度の導入を図ること。

「地域きらめき隊」は、支所長(地区活動支援担当)の下、住民自治協議会等が行う地域の様々な課題解決の取り組みを支援すること。

また、その支援にあたっては、関係部局が十分連携を図ること。

今後の火災件数や救急件数の動向、また人口動態を踏まえ、将来にわたり安定した消防体制の維持について研究するとともに、自主防災組織の災害時における活動を強化するため、防災指導員の育成を図り、地域の実情に応じた防災訓練の実施等の支援や指導を行うこと。

福祉環境部会

後列左より
西脇かおり 三井 経光 寺沢さゆり



令和4年度予算要望の主な内容

①生活保護世帯及び生活困窮者に対する就労支援・学習支援等自立のための施策の充実を図ること。

②市民の医療ニーズに的確に対応するため、医療機関との連携を促進し、救急医療をはじめとする医療体制の整備充実を図ること。

①第二期長野市子ども・子育て支援事業計画が計画期間の中間年となるため、必要に応じて事業や目標値の見直しを検討すること。

②放課後子ども総合プラン事業の運営体制の在り方について、多様化するニーズに対応する継続可能な事業として充実した体制となるよう検討すること。

①2050年ゼロカーボンの実現に向け、「第三次長野市環境基本計画」に基づき、省エネルギーと再生可能エネルギー施策を推進するとともに、国の施策などを活用し効果的な支援策に取り組むこと。また、電気自動車など次世代自動車や省エネ機器等の普及促進、市民、事業者等への普及啓発に積極的に取り組むこと。

②「長野市一般廃棄物処理基本計画」の目標達成に向け、可燃ごみ、不燃ごみ及び資源物の分別指導を徹底し、さらなるごみの減量及びリサイクル並びに適正処理に向けて実効ある取り組みに努めること。

令和3年度予算要望で実現した主な事項

これまで子育て情報のみの運用であったLINEの長野市公式アカウントを令和3年11月にリニューアルし、AIチャットボットを活用したごみの分別検索機能を導入するなど、デジタル技術の活用により、市民の利便性向上と業務の効率化が図られました。

①長野市災害復興計画検討委員会が開催され、復興計画の進捗管理が実施されました。

②「復興だより」の発行により、被災者支援情報等が提供されました。

③地域コミュニティの再構築・育成のため、被災地区に対して「復興支援金」が交付されました。

④今後の復興を祈念するとともに、被災地の復旧・復興状況を発信し、地域経済の活性化に寄与するため、復興応援事業【がんばろう NAGANO2021(にげこう)】が昨年度から継続して実施されました。



①令和3年度一般会計当初予算は、健全財政の維持を図りつつ、新型コロナ対策関連に70.4億円、東日本台風災害からの復興関連に51.6億円が重点配分されるとともに、引き続き増大する社会保障関係費をはじめ、市内経済の活性化とともにぎわいを創出する事業に必要額がしっかりと予算付けされました。

②建設工事の計画的な発注や履行期間の確保、労働環境の改善に向けた指針となる、県内初の公契約等基本条例が制定されました。

住民自治の拠点や災害時の防災拠点として、中条総合市民センター(中条支所)及び七二会支所が供用開始となりました。



▲中条総合市民センター(中条支所) ▲七二会支所

市東北部の消防体制強化を目的とし、災害復興計画に基づく豊野分署整備事業の推進のため、豊野支所1階事務室、及び消防コミュニケーションセンターの改修工事が進められ、令和4年5月の業務開始を目指した取り組みが行われました。

経済文教部会

後列左より
加藤 英夫 若林 祥 青木 敏明



令和4年度予算要望の主な内容

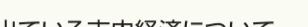
①災害を含め様々な要因による収入減に対応可能な収入保険の保険料に補助し、加入促進を図ること。

②令和元年度から施行された森林經營管理制度の事業を推進するため、新業者(担い手)の確保・育成を図ること。



①地域経済の活性化、雇用の確保を図るとともに、新たな産業団地用地の開発の実現に向けて取り組むこと。

②令和4年春に開催される善光寺御開帳時に多くの観光客を迎えるために、受入環境整備を整えること。また、令和4年度は真田信之入部400年の記念事業を開展する松代において、誘客事業を行ふとともに継続的に観光交流人口の増大が図られるよう、全国への情報発信の強化に努めること。



①「文化芸術振興計画」に基づき、市民の文化芸術の振興にかかわる具体的な事業を積極的に実施すること。

②長野県での開催が予定されている第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会に向けて、本市においても万全の準備体制を整えること。



①第三期しなのきプランの取り組みを確実に進め、教職員の力量の向上を基盤とし、学校間の連携、学校と地域・家庭・事業所との協働・分担の中で、児童生徒の知・徳・体を一體的に育み、「自学自習の資質能力」の伸張を図ること。

②老朽化や劣化の激しい小中学校の校舎・体育館について、令和3年2月に策定した「長野市学校施設長寿命化計画」に基づき、必要に応じた改築や長寿命化改修を進めること。

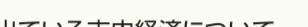


▲1人1台タブレット端末を使った授業の様子
(市立長野中学校)

令和3年度予算要望で実現した主な事項

①IoTやドローンなど先端技術を活用したスマート農業を推進するため、本市農業に適したスマート農業用機械等の開発と導入の支援が行われました。

②令和2年7月に被災した柳原1号幹線排水路(北八幡川)分水工から地蔵橋間について、復旧及び改修工事が着手されました。



①新型コロナウイルス感染症で大きな影響が出ている市内経済について、感染防止対策への補助や推し店プラチナチケット事業、飲食・観光関連事業者支援金など、事業者支援や切れ目ない経済対策が実施されています。

②飯綱高原の活性化に向け、令和元年度から整備を進めていた「森の駅 Daizahoushi」が令和4年春に完成され、この施設のオープンにより、グリーンシーズンの拠点として、飯綱高原エリアの誘客が期待されます。



①新型コロナウイルス感染症対策を講じる中で、「獅子舞フェスティバル」「伝統芸能こどもフェスティバル」が開催され、次世代への継承と文化芸術の振興が図られました。

②東京2020大会の関係では、デンマーク競泳チームとバラ水泳日本代表チームの事前合宿を受け入れるとともに、東京2020オリンピック開会式ライブサイトや競技のパブリックビューイングが開催され、オリンピック・パラリンピックムーブメントの推進が図られました。



①すべての児童生徒に、学習用ソフトウェアを含む端末が配備されるとともに、通信ネットワークの強靭化やICT支援員の拡充が進むなど「GIGAスクール構想」を実現させるための環境が整備されました。

②手指消毒剤等の保健衛生用品や学習保障のための教材購入等、学校での新型コロナウイルス感染症対策が万全に実施されました。



福祉環境部会

後列左より
西脇かおり 三井 経光 寺沢さゆり



令和4年度予算要望の主な内容

①生活保護世帯及び生活困窮者に対する就労支援・学習支援等自立のための施策の充実を図ること。

②市民の医療ニーズに的確に対応するため、医療機関との連携を促進し、救急医療をはじめとする医療体制の整備充実を図ること。

①第二期長野市子ども・子育て支援事業計画が計画期間の中間年となるため、必要に応じて事業や目標値の見直しを検討すること。

②放課後子ども総合プラン事業の運営体制の在り方について、多様化するニーズに対応する継続可能な事業として充実した体制となるよう検討すること。

①2050年ゼロカーボンの実現に向け、「第三次長野市環境基本計画」に基づき、省エネルギーと再生可能エネルギー施策を推進するとともに、国の施策などを活用し効果的な支援策に取り組むこと。また、電気自動車など次世代自動車や省エネ機器等の普及促進、市民、事業者等への普及啓発に積極的に取り組むこと。

②「長野市一般廃棄物処理基本計画」の目標達成に向け、可燃ごみ、不燃ごみ及び資源物の分別指導を徹底し、さらなるごみの減量及びリサイクル並びに適正処理に向けて実効ある取り組みに努めること。

令和3年度予算要望で実現した主な事項

①新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が、医療機関での個別接種に加え、オンライン接種等の大規模施設を活用した集団接種も実施されました。



▲オリンピック施設等の大規模施設を活用した集団接種

①すべての子どもたちが健やかに成長するため、支援を必要とする子どもや家庭に対し総合的な支援を行うため、「子どもの貧困対策計画」の策定に着手しました。



▲城東子どもプラザの様子

②待機児童対策として、公立保育所のICT化などにより、保育士の負担軽減等の改善を図り、保育士確保へとつなげました。

①令和3年6月策定の「長野市バイオマス産業都市構想」に位置付けた事業化プロジェクトのうち、複数の事業が国庫補助事業に採択され、構想が着実に実現化されています。また、市内におけるバイオマス利活用事業に、国からさらに優先的な支援が期待できる支援制度「バイオマス産業都市」について、現在、農林水産省に申請しています。



▲公費解体の様子

②令和元年東日本台風により被災した損壊家屋等について、自費解体の259件(422棟)分については、昨年1月までに償還が完了し、公費解体の557件(1,024棟)については、昨年9月末で完了しました。

建設企業部会

後列左より
西沢 利一 桜井 篤



令和4年度予算要望の主な内容

①交通の安全と円滑化を図るために、道路の改良整備と共に自転車道や歩道の整備推進を図ること。小学校と道路管理者、警察と合同による通学路危険箇所点検に基づき、対策が急務な箇所について早急な安全対策を講じること。

②「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」に基づく遊水地の整備や河床削除及び堤防強化、さらには屋島地区他の堤防整備等についても、早期に整備が進むよう市として協力するとともに、堤防道路等の整備を進めること。併せて、長沼地区河川防災ステーションや長沼地区の復興道路の整備促進を図ること。



①令和元年東日本台風により被災した高岡川(若穂保科)の災害復旧工事(約1.5km)が令和3年12月に竣工し、市が所管する河川関連の被災施設は全て復旧されました。

②災害公営住宅美濃和田団地整備事業(73戸)を進め、令和3年12月から、東日本台風の被災者の皆様に、生活の基盤となる住まいが提供されました。



①人口減少や高齢化を背景とし、コンパクトな都市づくりを進め、持続可能なまちづくりを推進する長野市立地適正化計画の定期見直しと、根拠法の都市再生特別措置法の改正に伴い、防災指針を追加する改定作業が行われました。

②長野中央西地区市街地総合再生基本計画は、中心市街地の課題に対応し、まちの利便性や価値を高めていくための将来像を定め、その実現に向けて官民が連携したまちづくりを推進するためのガイドラインとして、今年度中に策定する予定となりました。



①令和元年東日本台風で被災した豊野町の西沖浄水場の浸水対策工事を実施するとともに、東部浄化センターの浸水対策基本設計を実施するなど、上下水道施設の浸水対策が進められました。



②下水道施設全体を対象に、点検・調査等によって状態を把握し、下水道施設を計画的かつ効率的に管理しながら、事業費の削減と平準化を目指すストックマネジメント計画に基づいた改修更新が進められました。

